

語いと英語教育(10)

A . 英語・基本語い1000語・Appendices

B . 授業の中で、どのように語いをふやすか

C . CLT (Communicative Language Teaching) について

1987年 2 月 17日

本研究に携わった研究員

| | | |
|-------|--------|--------|
| 森永 誠 | 石津谷 進 | 長 勝彦 |
| 青木 弘子 | 後関 正明 | 備里川 正人 |
| 本庄 文男 | 田中 義則 | 日臺 滋之 |
| 鬼山由美子 | 原田 博子 | 鶴田 峰子 |
| 橋本 りえ | 吉岡 千恵子 | |

目 次

| | |
|--|-----|
| A . 英語・基本語い1000語・ Appendices | |
| - 第2次レポート - | |
| 語い選択の目的 | 125 |
| リストにいれる語の基準 | 126 |
| 「みだし語」について | 127 |
| リストのよみかた | 128 |
| 英語・基本語い1000語のリスト | 129 |
| Appendices | |
| B . 授業の中で、どのように語いをふやすか | |
| - Bingo , Guess work , Pair work , Skit - | |
| なぜ、授業の中に外来語をとり入れるか | 130 |
| 外来語をとり入れた授業の展開 | 130 |
| C . C L T (Communicative Language Teaching) について | |
| C L T 研究の必要性 | 135 |
| C L T の共通特徴 | 135 |
| 日本の教育現場におけるC L T の取り扱い方 | 135 |
| C L T に必要な諸要素 | 136 |
| 教師の果たす役割と活動 | 136 |
| 学習者理解 | 136 |

目次は発表時のもので、ページの示されていない項目は、このダイジェスト版では省略されています。

A 英語・基本語い1000語・Appendices 第2次レポート

語い選択の目的

語いリストにはそれぞれ目的がある。人工言語 에스ぺラントは大言語から独立した世界共通語を目標とする。自然言語である英語で世界共通語を目標とした最小語いリストには、ベーシック・イングリッシュがある。世界共通補助語を目標とするベーシック・イングリッシュは動詞を16語、語い数を850語に限定する等、シンタックスを再構成するため特殊な英語となり、使用者に強制力をもつ語いリストとなる。上記の2つの要素をもたない、自然言語である英語の語いリストは、サービス・リストの性格をもつ。リストの作成者、編集者は明確な目標をもって、その目的にかなう語いリストを提供することになる。

1. Hearing, Speaking, Reading, Writing等とリストの目標

- 1) Writing その中でも辞書の「見出し語」を定義するリストとしては、Longman Dictionary of Contemporary English の defining vocabulary 2000語等、すぐれたリストがある。
- 2) Reading を目的としたリストとしては、そのリストによって「読み物教材」が作成されている、L.A.Hill の1000語のリスト、United States Information Agency の調査による頻度を資料にした Ladder のリスト等がある。
- 3) Hearing を目標とするリストには、Voice of America : United States Information Agency の Special English Word Book 1450語がある。強烈な政治色がめだつ。強烈な productive vocabulary で、日本人の初学者には到底無理な Word Book である。中立的立場で頻度を重視する Hearing の制限語いリストを作成することは、自然言語の英語を対象とするならば無理があるといえよう。
- 4) Speaking, Hearing を目標とするリストには興味ぶかいリストがある。日本人にとっては、日本以外の国で生活することが目的となることが多いから、日常生活ができることが最初の条件となる。イギリスの大学へ行って生活し、学習することを目的とする Cambridge English Lexicon はその一つであろう。Basic English も、相手がきいてくれさえすれば、不思議な一風かわった英語として理解されよう。ヨーロッパへ働きに来る外国人対象の Speaking 語いリストとしては、J.A. van Ek の The Threshold Level for Modern Language Learning in Schools にある Lexical Inventory 等がある。
- 5) Hearing, Speaking, Reading, Writing を目標とするリストとしては、Ogden の Basic English の850語、Richards の English Through Pictures のリスト等がある。
- 6) 頻度... 資料源を決定することは、リスト作成者の主観によって決まるが、膨大な資料から頻度順に整理したリストが作成される。古典的なリストとしては Thorndike 等がある。コンピューター処理が進んだ現在では、Francis & Kucera の Frequency Analysis of English Usage その他、これからは膨大な資料が提供されるようになるう。

2. 英語・基本語い1000語(第2次レポート)の目標

本リストは自然言語・英語・基本語いリストで、その対象は日本人の初学者及び、初学者向けの教材作成者、及び教師であり、サービス・リストである。日本人が日本で英

語を習得するための、初学者向けの語いリストという性格上、次の2つの目標が設定される。

1) (Hearing / 特に) Speaking

情報を聞き、尋ね、伝えることができる基本語いリストを目標とする。Speaking に関しては、限定された語いでも、かなり伝達することができることをベーシック・イングリッシュの850語が希望を与えている。Hearing については、目的によって異なるリストが必要になる。VOAのスペシャル・イングリッシュ番組を聞くためには、特別な語いリストが用意されている。イギリスの大学で学習するためにイギリスで生活することを目的とするならば、生活用語いも含むリスト、Cambridge English Lexicon が参考になる。ヨーロッパで仕事をし生活をするためには、そのための基礎として J. A. van Ek の Threshold Level for Modern Language Learning in Schools にある Lexical Inventory が参考になろう。日本にいて英語を学習する初学者向けの語いリストで Hearing を目標とするリストには限界があることは否定できない。限定された語いによって編集されたリストに、未学習の類推可能な程度の語いを補足した情報を聞き取れれば、それでよしとせざるをえない、と言えよう。

2) Reading

情報を読み取れる基礎として、まず textbook が読めることが目標となる。1990年代になっても、1学級40名以下になれるか、なれないかという教育環境からも、学校教育の中では、Reading は効率の高い目標である。

注 オーラル・ワークが定着したあと文字化するレベルの Writing は、初学者のレベルでは (Hearing / 特に) Speaking や Reading と比べ、特に大きな目標とはされない。

リストにいれる語の基準

基本千語にいれる語について、またいれない語について、その条件をいくつか整理することとする。

1. Frequency (頻度) と Range (分布範囲) と Semantic count (意味別頻度)

1) Frequency (頻度) ... 頻度を調査する場合、そのリストがどういう資料によって整理されたかが、問題となる。 - 中略 -

資料源として何を選ぶのか - ここにリストの作成者の主観がからむ。

2) Range (分布範囲) ... 以下に挙げる13のリストのうち、いくつかのリストに載っているかを示してある。本リストの「見出し語」は、13のリストのうち7以上のリストにあることを原則とした。13のリストのうち7つのリストにある場合 Range7として、示してある。

- 13のリストと、そのリストの特徴・目的 -

| リスト名 | 語数 | 特徴 目的 | 4 技能との関係 |
|--------------------------------|---------|---------|----------|
| 1. Ogden : Basic English の850語 | | 世界共通補助語 | : HSRW |
| 2. Richards : | | | |
| English Through Pictures Book | ・ の746語 | 同上 | : HSRW |

3. Longman Dictionary of Contemporary English 2000語 difining vocabulary
: W
4. M. West : New Method English Dictionary 1455語 difining vocabulary : W
5. L. A. Hill : 1000 Word Vocabulary 1000語 : R
6. The New Horizon Ladder Dictionary
of the English Language の のレベル1000語 : R
7. CEL(Cambridge English Lexicon)の
Level 1,2 1215語 Semantic Count を示す : SH
8. VOA : Special English Word Book 1450語 : H
9. H. E. Palmer 選 : 基本英語一千語 (財) 語研編 : S46年版から*以外の語 1521語
: SWR
10. Active Vocabulary 1000語 : HSRW
11. Thorndike : The Teacher's Word Book
of 30000語の1110語 頻度
12. Frequency Analysis of English Usage :
W. N. Francis & H. Kucera の Rank List の右欄 adjusted frequency list から1215 語
頻度
13. (The English Journal) EJ 実用英語語彙頻度表 : 竹蓋幸生の白色語いマーク から
選ばれた出現頻度の高い1110語 頻度

3) Semantic Count ... 語・語中の意味別頻度

2. リストに入れる優先項目

- 1) 共通語 (普遍性をもつ語) が方言 (特殊性) より優先。 - 省略 -
- 2) 口語の方が文語より優先され、一般的な口語の方が俗語より優先。 - 省略 -
- 3) 科は属に優先し、一般性をもつ語の方が、それによってくくられる語より優先。
- 省略 -
- 4) 生活語は専門用語より優先。 - 省略 -
- 5) 派生語・連語・語尾変化と関連のある語の方が、それらと関連がない語より、
一般的には使用価値が高い。 - 省略 -

3. 残されている問題

- 1) Productive vocabulary - 省略 -
- 2) 外来語・英語の扱い - 省略 -

「みだし語」について

1. 英語・基本1000語の「みだし語」は1語からなるものとする。2語からなる「みだし語」はたてない。句・熟語・成句語は「みだし語」としない。
2. 「みだし語」は13のリスト中、原則として7以上のリストにあらわれた語、Range 7以上の語とした。Range 7以上でリストから除いたのは bar (酒場) , British, cotton, hotel, king, list, lower, match (マッチ) , pen, pot, shirt, spoon, stream, strike, suit の15語である。
3. 同綴異字は Range 7以上ならば「みだし語」として別におこす。

4. 同一語内の品詞区別はしない。
5. 人称代名詞、疑問代名詞の変化形は Range 6 以下の場合、次の23語を入れる。
- 省略 -
6. 数関連語は Range 7 以上を「みだし語」とする。Range 6 以下で「みだし語」とするのは、次の8語である。eight6-1, nine5-1, eleven3-1, twelve5-1, thirteen4-1, twenty6-1, thousand6-2, fourth4-2 「みだし語」から、次の21語ははずした。 - 以下省略 -
7. 曜日、月名は Range 7 以下の19語を「みだし語」とした。 - 以下省略 -
8. inflections (名詞・動詞・形容詞・副詞)
 - 1) 規則変化は「みだし語」としない。
 - 2) 名詞の複数形で意味が単数形とかわる語は、Range 7 以上は「みだし語」とする。
 - 3) 名詞・形容詞・副詞の不規則変化形については、Range 7 以上は「みだし語」とする。
 - 4) 助動詞・modal については、次の12語を「みだし語」とする。 - 以下省略 -
9. ハイフンで連結した語は Range 7 以上は「みだし語」とする。
10. 短縮語は Range 7 以上は「みだし語」とする。
11. 略語は Range 7 以上は「みだし語」とする。
12. 記号・接頭語・接尾語は「みだし語」としない。
13. 固有名詞・関連語... 地名(国名・大陸名・大洋名等)とその形容詞形(～の、～人、～語)の中から English7-1, Japan2-2, Japanese0-3の3語のみを「みだし語」とし、他は Appendix 1として補足する。 - 以下省略 -

リストのよみかた

- 英語基本語い 1000 語は、語頭をそろえてある。Range 7 以上の語。
- 基本語い 1000 語の「みだし語」であるが Range 6 以下の語。
- Range ... 13 のリストのいくつにでているかをしめす。
- Semantic Count 1 ~ 5。Cambridge English Lexicon の意味別頻度 1 ~ 5をしめす。

| 基本 1000 語 Range 6 以下 | R・S C | SC の意味 (ヒント) |
|-------------------------|----------|-----------------|
| apple | 9.1 | りんご |
| April | 5.1 | 四月 |
| art | 9.3 | 芸術 |
| fire | 13.1 | 火 |
| surprise | 10.? | |

art の SC . 3 は「芸術・美術」
SC . 6 は「技術」
fire の SC . 1 は「火」
SC . 3 は「～を発射する」
SC . 6 は「熱情」
surprise の SC . 7 ? は「～を驚かせ
で SC は 6 以上、原本になかった

ことをしめす。

英語基本語い1000語リスト

| 基本1000語 Range6以下 | R・S C | SCの意味 (ヒント) | 基本1000語 Range6以下 | R・S C | SCの意味 (ヒント) |
|---------------------|----------|----------------|---------------------|----------|----------------|
| - A - | | | and | 13・1 | ~と、そして |
| a | 13・1 | 1つの、1人の | angry | 9・1 | 怒った |
| able | 12・2 | ~ができる | animal | 12・1 | (人に対し)動物 |
| about | 13・1 | 回りに(を) | another | 10・1 | もう一つの |
| above | 11・2 | ~の上に(の) | answer | 12・1 | 答える |
| accept | 10・2 | ~を受け入れる | any | 12・1 | いくらかの |
| according | 7・5 | 従って | anything | 7・2 | 何か |
| account | 8・3 | 計算書 | appear | 10・2 | 現れる |
| across | 13・1 | (を)横切って | apple | 9・1 | りんご |
| act | 10・3 | 行い | April | 5・1 | 四月 |
| add | 9・3 | ~を加える | are | 3・1 | be |
| addition | 7・4 | 付け加え | arm | 11・1 | 腕 |

Appendices

- 省略 -

Appendices 1 固有名詞関連

- 省略 -

Appendices 2 「英語・基本語い1000語」とかさならない Lexical Inventory

- 省略 -

B 授業の中でどのように語彙をふやすか

- Bingo, Guess Work, Pair Work, Skit -

なぜ、授業の中に外来語を取り入れるか

- 一部省略 -

中学1年生の最初の英語の授業で、生徒が知っている外来語(カタカナ語)を、できるだけ沢山書かせてみた。一番多く書いた生徒で192語、少ない生徒でも36語書いた。85語書いた生徒の外来語(カタカナ語)を次のように分析してみた。

1. 「中学校学習指導要領」に示された必修語(490語)の中に含まれている語... 6語
2. 昭和61年度使用、中学校英語教科書(5社15冊)のいずれかに出ていた語
- 一部省略 - ...22語
3. 昭和60年度全英連高校基本英単語(案)1900語の中に含まれていた語
- 一部省略 - ...12語
4. JACET(大学英語教育学会)基本語第2次案3,990語の中に含まれている語
- 一部省略 - ...12語
5. テレビ、カルタ等のように、英語の変形または英語以外からの外来語... 9語
6. 1~5の項目に含まれていない語... 24語
- 以下省略 -

英語の授業をまだ一度も受けていない英語未学習者である中学1年生が書いた英語からの外来語76語の中、上記の24語は、中学校・高等学校6年間、そして、大学一般教養課程年間、実に8年間の英語の授業で使われる教科書の中には出てこないことになる。

外来語 サービスカード Index

- 省略 -

外来語を取り入れた授業の展開

- すべての生徒が参加でき、分かって、楽しく、自ら挑戦する授業 -

- 一部省略 -

1. Gameを取り入れた授業

(授業の展開場面を大まかに次の6場面に分けて考えている)

- 1) Bingo Game - 語彙(外来語も含む)を定着させる場面 -
- 2) Guess Work - 語彙を増やし、文型の定着を図る場面 -
- 3) Pair Work - 語彙及び文型の定着を図る場面 -
- 4) Skit - Hearing, Speakingの言語活動を行わせる場面 -
- 5) 教科書の内容を膨らませての提示 - 総合的な言語活動を行わせる場面 -
- 6) NHK基礎英語・続基礎英語 - 語彙・文型を増やし Skitの資料源となる場面 -

< 各場面の関係図 > - 省略 -

毎時間の授業の中心は 5)教科書の内容を膨らませての提示 に置くが、英語学習の到達目標を 4)Skit -Hearing・Speaking の言語活動を行わせる場面 - に置いている。

2. 1986年度 語研大会公開授業指導案(一部省略)

| <p>1. 日時：昭和61年11月15日(土) 3:00 ~ 3:50</p> <p>2. 対象：東京都墨田区両国中学校 2年4組(男子23名・女子20名 合計43名)</p> <p>3. 教科書：New Crown English Series 2 Lesson 9</p> <p>6. 本時の目標：1) 言葉遊び BINGO GAME を行い語彙を増やさせる 2) GUESS WORK (3分間質問) で既習句型 Are you going to ~ ? を使って活発な言語活動を行わせる 3) 生徒自作の寸劇を出演日程の順番に従って発表させ、より高度な言語活動を行わせる 4) The Great Salt Lake についての英文を理解させる 5) その他</p> <p>7. 教材教具：教科書・BINGO Cards・Flash Cards・Sentence Cards・地図・ロシア人形(マトリョーシカ)・テープレコーダー等</p> <p>8. 指導過程： 評価の欄のA・B・C：A-良い B-普通 C-良くない</p> | | | | |
|---|---|---|--|-----|
| 学習の流れ | 教師の活動 | 生徒の活動 | 評価の観点 | 評価 |
| 1 挨拶 | 挨拶をする | 挨拶をする | 元気良く挨拶ができたか | ABC |
| 2 言葉遊び BINGOを行う | BINGOの単語を読み上げる | BINGO GAMEを行う | 生徒一人一人が興味関心を持って参加しているか | ABC |
| 3 GUESS WORKを行う | 大小2つのロシア人形を示し、1つの人形には何も入っていないが、もう1つの人形に入っている物を be going to の句型を使って当てさせる | Are you going to put ~ into the doll?の句型を用いて、先生が人形から物を取り出して、空の人形に入れようとしている物を当てる | 積極的に質問しているか | ABC |
| 4 生徒自作の寸劇発表 | 本日の寸劇発表者を指名する 寸劇を録音する 録音した寸劇を再 | 出演生徒は前に出て寸劇を行う 寸劇を鑑賞する 再生を聞いて内容 | 楽しく演じられたか 内容を理解しようと努めていたか 内容を理解しよう | ABC |

| | | | | |
|---------------------------|--|--|---|---------------------------|
| 5 既習語の発音練習を行う | 生して聞かせる Flash Cards を用いて発音練習を行う | 理解に努める Flash Cards を見て発音練習を行う | と努めていたか はっきりした声で発音しているか | ABC |
| 6 既習教材の読みを行う | 一文ずつ音読する | 教師の後について音読する | はっきりした声で読めたか | ABC |
| 7 家庭学習の状況をチェックする | 本文を5回音読したら星を1個そのページに書くように普段指示してある。その星の数を毎時間聞くことに - 以下省略 - | 質問にははっきりと答える | 質問にははっきりと答えられたか | ABC |
| 8 内容のチェックをする | 簡単に本文の内容について質問する | 簡単に答える | 本文の内容をよく理解したか | ABC |
| 9 新教材の導入 | 英語で質問して新教材を導入する | 質問に答えながら内容理解に努める | 新教材の内容が理解できたか | ABC |
| 10 新出語の発音練習を行う | Flash Cards を用いて発音練習を行う | Flash Cards を見て発音練習を行う | はっきりした声で発音していたか | ABC |
| 11 本文を読む | 本文を読んで聞かせる 一文ずつ音読する 各自音読するよう指示し、机間巡視して個別指導する | 教師の音読をよく聞いて文字と音を結び付ける 教師の後について音読する 各自音読練習を行い、5回読んだら星印を教科書に書き込む | 文字を追って聞いているか はっきりした声で読めたか 各自意欲的に音読に取り組んでいるか | ABC ABC ABC |
| 12 内容理解の上で重要な箇所の下線を引かせる | 重要箇所を明示して下線を引かせる | 重要箇所に下線を引き本時の学習ポイントを確認する | 指示された箇所に下線が引けたか | ABC |
| 13 下線部に注意しながら本文を音読する | 一文ずつ音読する | 内容を理解しながら音読する | 気持ち良く音読出来たか | ABC |
| (時間の余裕があったらBINGO GAMEを行う) | | | | |
| 14 挨拶 | 挨拶をする | 気持ちを込めて挨拶をする | 気持ちを込めて元気良く挨拶出来たか | ABC |

3.各展開場面について

1) BINGO GAME について - 語彙 (外来語も含む) を定着させる場面 -

- 一部省略 -

a) Bingo Game を始めてから 1 年 6 ヶ月後の生徒の反応

調査対象 : 2 年 5 クラス 208 名 (記名・記述式で行う)

| | | | |
|---------------------------------|------|-------|---------|
| 1. Bingo Game は面白い..... | 125名 | 60.0% | } 94.7% |
| 2. Bingo Game はどちらかと言え面白い..... | 72名 | 34.6% | |
| 3. Bingo Game はどちらかと言えば面白くない... | 10名 | 4.8% | } 5.2% |
| 4. Bingo Game は面白くない..... | 1名 | 0.4% | |

- 以下省略 -

2) Guess Work - 語彙を増やし、文型の定着を図る場面 -

ロシア人形 (マトリョーシカ) を用いて色々な文型を、生きた言葉として生徒に使わせることが出来る。

a) (人形の中に物を入れて、人形を示しながら)

- ・ { T: What do I have in this doll?) Do you have ~ ? の構文練習及び語彙
P: Do you have a coin in the doll?

- 省略 -

- ・ { T: What is in this doll?) Is(Are) there ~ ? の構文練習及び語彙
P: Is there an eraser in the doll?

- 以下省略 -

3) Pair Work - 語彙及び文型の定着を図る場面 -

教師対生徒の Guess Work と違って、生徒 2 人 1 組になって、決められた文型を用いて、お互いに相手の持っている Pair Work 用紙にそれぞれが記入した事柄を、口語に質問しながら当ててゆくゲームである。

- 以下省略 -

a) Pair Work のやり方

- 1) 用紙を配布し、「会話の仕方」を見ながら、口頭練習を行う。
- 2) 用紙に記入をする。
- 3) ペアを決めさせる
- 4) ストップウォッチを押して開始。(3 分間位が適当。初めての場合は 5 分)
- 5) 時間になったら、止めさせる。
- 6) 相手より多く当てた生徒に挙手させる。
- 6) 相手より多く当てた生徒に挙手させる。
- 7) 当てた数を one, two, three ... と、教師が英語で言って、生徒に挙手させる。

- 以下省略 -

4) Skit - Hearing, Speaking の言語活動を行わせる場面 -
- 省略 -

a) Skit をつくり、発表するまでの手順

- 1) 基礎英語・続基礎英語のテキストの中より、Skit のモデルとなるものを、各ペアで相談して決める。
- 2) モデルとなった skit を、自分たちのこととして書き直して、原稿を作る
- 3) Skit の原稿を、出演 2 週間前に提出する。
- 4) 先生に添削して貰った原稿を一部提出する。
- 5) 添削された原稿で、練習をする。
- 6) 出演 1 週間前に、Skit をテープに録音して提出する。
- 7) 出演する日(授業注)に教室の前に出て Skit を行う。(教卓の上のテーブルレコーダーに、自分達で録音する)
- 8) 教師は。テープを巻戻して、ボリュームを調節して再生し、クラス全員にもう一度聞かせる。場合によって、内容の理解度をチェックする。
- 9) 素晴らしい Skit は、マスターテープに収録しておき、他のクラスの授業の時に聞かせて、各自の Skit の参考にさせる。

- 以下省略 -

b) 語研大会公開授業で行った Skit の原稿

竹内 : Senda, I saw you in front of the station last Saturday.

仙田 : Did you? Why didn't you say hello to me?

竹内 : I was very busy, because I had to go to the bookstore to buy some books.

仙田 : I was on my way to the Science Center. By the way, what are you going to do this afternoon?

竹内 : I'll watch television at home. I'll watch the NHK program on TV.

仙田 : Will you? I want to watch it, too.

竹内 : It starts at 4:00. It's 3:40 now. Shall we go home at once?

仙田 : Yes, let's.

竹内 : Good-bye, Senda.

仙田 : Good-bye, Takeuchi.

- 以下省略 -

C . C L T (Communicative Language Teaching) について

C L T 研究の必要性

- 一部省略 - 従来の文法・構造中心の指導法では、言語形式の操作に習熟して、正確な言語習慣が身につけば、実際の場面においてもこの能力を適用して、情報伝達が行えるようになる、という考え方が支配的であった。即ち文法能力は情報伝達能力に転移する、言わば, explicit な knowledge は, implicit な knowledge に転移するという考え方が主流であったわけである。なるほど、言語形式の知識がなかったら、情報伝達は行えないし、不正確な文法能力からは的確な情報伝達はおよそ期待できない。どの様な形であれ、skill-getting から skill-using への転移を可能にする、文法能力の内在可は不可能である。

- 一部省略 -

つまり、従来の指導法は、文法・構造の指導に重点を置くあまり、言語表現の源となる概念 (notions) と、実際の言語使用の本来の目的である言語伝達機能 (functions) への注意が不十分であったといえる。そこで、notions と functions を教授・学習の中で常に意識し、functions と密接に関わる言語形式、及び notions と密接に関わる語彙を学習者の needs を活かしながら選定し、構造面に配慮を加え、また一方では話題の領域を設定し、スキット等を作成することによって、場面にも目を配るといった、統合的かつ総合的なアプローチが必要になってくるのである。

C L T の共通特徴

- 一部省略 - J. B. Barnett(1981)はこのような事実を認めた上で、linguistic competence よりも、communicative competence を重視し、その育成を図ることを主眼目標とした C L T の共通特性を次のようにまとめている。

1. 現実の言語使用 (use) に力点を置いた機能的言語観。言語構造よりも、その構造を用いて何が出来るかが注目される。このことはまた、談話の重視にも連なる。
2. 文法や場面でなく、機能 (function = what we talk for) と、概念 (notion = what we talk about) を中心にしたシラバス構成。
3. 学習者の認知力や分析力を重視した、学習者中心の言語学習観。
4. 学習者の needs-analysis を出発点とする。逆から言えば、言語構造の全体像を与えるよりも、学習者が必要とする事項を教える。
5. 学習者の needs に合致した授業設計。
6. 言語学習を現実の言語使用 (authentic use of language) に接近させる。

日本の教育現場における C L T の取り扱い方

- 一部省略 - C L T を現場に取り入れるひとつの方法としては、C. J. Brumfit(1981)の言う、"Grammatical-functional syllabus"を当面尾目標として、現場の実態に即すよう、また学習者の欲求と要求に応えるよう改善を加え、教材の作成ないし見方、さらには指導方法や形態の偏り等を捉え直し、是正してゆくことが望ましいのではないだろうか。

- 以下省略 -

C L Tに必要な諸要素

- 一部省略 - 以下が communicative であることの必要要素と考えられるものである。全てを満たしていれば当然 communicative activities と言えよう。しかし日常の活動全てが communicative であることはあり得ないし又その必要もない。大切な点は communicative であろうと常に考えることにより、活動の中に一つでも多く以下の要素を取入れ活かしていこうとすることではないであろうか。

- 1. Information Gap - 省略 -
- 2. Choice - 省略 -
- 3. Feedback - 省略 -

課題に基づいて、問題解決 (problem-solving) を果たすべく、総合的なスキルの運用を目指した meaningful から communicative な活動を心がけていくことが必要となろう。

教師の果たす役割と活動

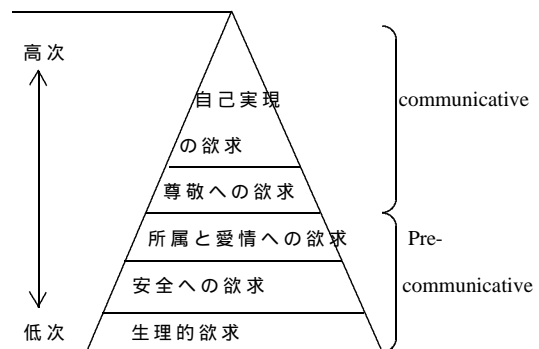
C L Tの主眼は、学習者に伝達能力をつけること、及び学習者の動機を高揚し、維持することと言えよう。ゆえにその授業展開は当然、purposeful communication でなければならない。そのためには教師自らがこれまでの teacher-centered な姿勢から、student-centered な姿勢へと、これまでの発想を転換し、次のような役割と活動に徹する必要があるろう。

- 『黒子』としての英語教師
- 1. a good motivator / seducer
 - 2. not a knower but a listener
 - 3. a participant or a co-worker
 - 4. a good evaluator

学習者理解

1. 「欲求階層説」(Maslow:1970)からの示唆

- 第1水準「生理的欲求」 - 省略 -
- 第2水準「安全への欲求」 - 省略 -
- 第3水準「所属と愛情への欲求」 - 省略 -
- 第4水準「尊敬への欲求」 - 省略 -
- 第5水準「自己実現の欲求」 - 省略 -



この Maslow の欲求階層論において、最も重要な点は、高次の欲求は、低次の欲求の満足の上のみ生ずるということである。換言するなら、低次の欲求が満たされない限り、高次の欲求はその発声をみないということである。

我々は、Communicative な言語活動を目指すあまり、勢い、生徒の自己の内面を直接表出させようとしてはいないであろうか。生徒の財産と needs を活かし、生徒の主体性を尊重し、その結晶として、創造的な言語活動を実現可能とするためにも、基礎・基本となる事項を丁寧に教え導き、生徒の学習上の低次欲求を様々な工夫を用いて満たしてやるのが大切であろう。3番目の所属の欲求が満たされて、始めて self-image を高めたい、成功したい、他者のためにも力を注ぎたいという欲求が生まれ、言語活動も pre-communicative から communicative なものへと成長していく。クラス全体が、次の高次の欲求を充足できるよう、生徒同士が互いに建設的に機能し合えるように、我々は常日頃から心がけてゆきたいものである。

2. 長 勝彦(両国中)教諭の実践からの示唆 - 省略 -